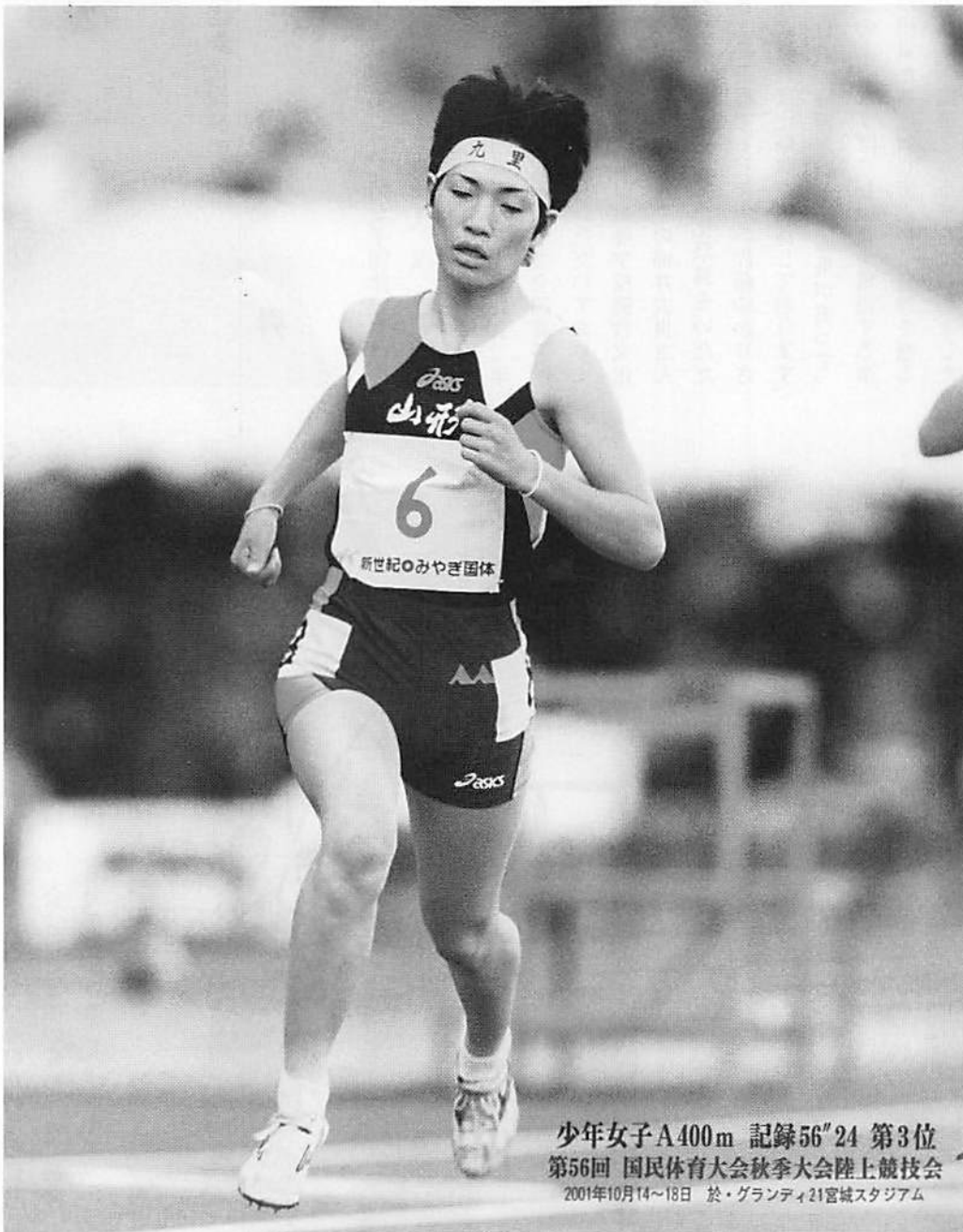


頑張れ九里!

No.15
2002.3

九里学園高等学校部活動後援会報



国体
第三位

少年女子A400M

堀江 真由さん

(3年 米沢一中出身)

少年女子A400m 記録56"24 第3位
第56回 国民体育大会秋季大会陸上競技会
2001年10月14~18日 於・グランティ21宮城スタジアム

●発行/九里学園高等学校部活動後援会 米沢市門東町1-1-72
☎(0238) 22-0091 FAX (0238) 22-0092



KUNORI GAKUEN HIGH SCHOOL

九里新世紀



部活動後援会会長

須貝 昇

時折の太陽の強い日差しを見ると春の訪れがすぐそこまで来ているのを感じます。

春は卒業・入学・就職など、親子共に変化の多い季節となります。この時期には開放感から気が緩み、事故・事件の多い時期ともいえます。本人にとって、将来にわたる汚点とならないよう、地域全体で各方面に目配りをしなければなりません。

部活動後援会会員の皆様には、日頃より本校部活動ならびにPTA活動に対し、多大なご協力、ご援助をいただいておりますことに、心からお礼申し上げます。又、これに応え生徒たちは各方面で大きな活躍をしてきています。体育面では、三年生の堀江真由さんが第五十六回国民体育大会陸上競技少年女子A四〇〇Mに出場し、見事三位に入賞しました。又、県高校新人大会ではバドミントン女子シングルで山口美百子さんが第一位、卓球で荒井直

子さんが第二位、同女子団体で二位の成績をあげております。又、文化面では、書道部三年生の佐藤ゆかりさんが、吟詠剣詩舞部門書道吟で全国大会二年連続出場し、平成一三年度全国高等学校文化連盟功績賞をいただいております。そして、山形県高等学校総合文化祭の美術展で、三年生の油井衣世さんが特選として総合文化祭賞をいただき、書道展でも三年生の佐藤ゆかりさんが総合文化祭賞を獲得しております。

日頃の練習と努力の成果が実って、このようなすばらしい賞を獲得する事が出来た事に対して心から賛辞を贈ると共に、監督・コーチをはじめとした諸先生方、そして陰で部活動を支えていた、だいたいいる保護者の方々のお力添えに感謝申し上げます。

新世紀に入り、九里学園としても百周年を経過し、新たなページを開こうとしております。生徒たちが過去に築かれた活躍と栄光の足跡を汚すことな

く、文化・体育両面でのびのびと活躍し、より一層輝けるページを綴っていただきたいと思います。又、その

良き環境づくりのために今後共、後援会会員の皆様の変わらぬご援助、ご協力をお願い申し上げます。



今の活動を生涯の活動として…



学校長
九里 廣志

先日、米沢市の美術愛好家団体「緑光会」から、本校の三年生の油井衣世さんと加藤光恵さんに賞が贈呈されました。彼女たちの作品が、県高校総合文化祭で評価された業績を讃えることでした。さて、この賞の特色は、同会が毎年開催している展覧会に、受賞した作品を出品する（展示させていただける）ことと、

同会会員たちが描いた作品で毎年行っているチャリティーの収益金から、今後の作品制作のための画材購入の一助にと、画材屋さんの商品券が贈られることです。今まで制作活動をしてきたことを讃えるだけではなく、同じ美術愛好者として、いつまでも自分たちと同じく、制作活動に励んで欲しいとの思いがこもった賞なのです。今までの活動評価以上に、将来に対する「期待の賞」なのです。

今年、卒業する生徒たちの中に、それまで行ってきた部活動を、これからも続けてゆこうとする人はどれだけいるのでしょうか。最近では、中学時代までの活動で、もう充分だと燃え尽きてしまう者が

多いと言います。まして高校を卒業してからまでも…等という人は少ないのかもしれない。私は、本当にその活動の楽しみが分かるのは、まさにその人が大人に成長した時であり、単に勝利や賞などにこだわらない、納得のゆく活動があると思っています。

『ゆきどうろう』という絵本が発行されました。本校で以前英語を教えていたフランシーヌ・ウィーブさんがストーリーを、美術講師・鈴木理香先生が絵を、そしてその間で英語の本間和夫先生が翻訳を担当されてできた絵本です。先日、ウィーブさんがカナダから来日された折、作品のモデルになったご家族や、親しい仲間たちが集まった懇親会が開かれました。和気あいあいとした会でした。制作の苦労話をお聞きすればする程、まさに心を込め、楽しんで作られた作品だったのだと実感しました。大人の活動のごさをかいま見ました。生徒の皆さんの今の活動も、是非、一生つきあってゆくことのできる活動であって欲しいものです。



クローズアップ!

ソフトボール部

おめでとう

東北大会出場



顧問

小山田 努

九里学園に来て二年が経ちます。同時にソフトボール部の顧問になって二年が経とうとしています。自分にとってソフトボールといえば、学校の体育の授業でしたり、クラスマッチでしたことがあがるくらいでまったくといっていいほど分かりませんでした。でも、分からないとか、できないと言っている暇はなく、毎日の部活は続きます。顧問の経験がある先生やソフトボールの本や雑誌、ビデオなど参考になるものは探してみるようにしました。しかし、本に書いてあるように教えることは難しく、また生徒の手下になるような技術もなくどうしたらいいのか何をしたらいいのかわからなくなるときもありました。特に試合のときは、どの場面でどういうサインを出せばいいか、どういうタイミングで指示を出せばいいのかなど本当に困りました。

今年は、二年目ということもあり、少しは気持ちにゆとりもでき、何をすべきかということが少しずつわかってきたような気がします。(ソフトボールの「ソ」の字くらいですが)

先日の新聞記事に中学校・高校での部活動への加入率が年々減少しているということが書いてありました。その中でもソフトボールの部活数や部員数の減少が多いようです。

実際に現在の部員数は一年生が五人、二年生が五人の合わせて十人。スポーツにケガはつきものであることを考えると厳しい状況といわざるを得ません。しかし、十人という少人数でも、新人戦の県大会では三位になることができました。また、東北私学大会へも出場することができました。結果がすべてではありませんが、現在の状況を考えると選手たちはよくがんばったと思います。

しかし、まだまだ技術的な面だけでなく精神的な面も含めて課題も多いため、現在トレーニングをしています。まだグラウンドにはたぐさんの雪があり、外で練習ができるのはもうちょっと先になりそうですが、グラウンドが使えるようになるまでの時間を有効に使うて来シーズンに備えたいと思います。

ソフトボールの本や雑誌によくこんなことが書いてあります。「勝ったときは選手の活躍あり。負けたときは監督の責任あり。」

顧問として、また監督としてまだまだですが、上の言葉を常に頭に置き、生徒たちとともにがんばっていきたいと思います。

これからも九里学園ソフトボール部をよろしく願います。



井澤 美江

私たちは、上の大会をめざすために、特に夏は厳しい練習にたえ、仲間と協力し助け合いながら、一生懸命練習してきました。その努力のいかいもあって、県新人大会では第三位、私学大会では東北大会へ出場し、そして県の優秀チームに選ばれました。今までにない良い成績をとることができたのでとてもうれしかったです。私はピッチャーという重要な役を任されています。ピッチャーとしての課題がまだまだ残っているのですが、その課題をクリアできるように、責任をもってがんばろうと思います。



バレーボール部

勝利の在処へ



二年八組
久保田沙織

私は初めて部長という大きな仕事を任されました。今まで人の上に立つということとはなく、自分にバレー部をまとめられるか不安でいっぱいでした。でも先生や仲間、先輩、家族に支えられ頑張ることができました。毎日の練習では一人一人が目標をもち真剣に取り組んでくれましたが思うように結果が伸びませんでした。私達に残された時間はあとわずか…。自分の力を信じて今できる限りのことを精一杯やりま



す。そして悔いの残らないように最高のプレーで戦います。私達はまだまだできる。全員バレーを目指して勝利の在処へ!!

ハンドボール部

ハンドボール



二年五組
山口 明子

私達、ハンドボール部は二年生八人、一年生四人のメンバーで毎日の練習を一生懸命頑張っています。昨年の大会では、思うようなプレーができず良い成績を残すことができませんでした。しかし、その悔しさをバネにし毎日みんなで大きな声を出し合いお互いの良い所をほめ、直さなければいけないところを一つ一つ丁寧に教えながら中身の濃い練習をしています。時にはうまくプレーができない時もありますが、そんな時仲間と一緒に考えて、適切な答えを出してくれれます。そんな、私達ハンドボール部は肉体的だけ強くなるのではなく精神面もきたえ、今まで以上に練習に力を入れ今年の大会では、一つ一つの試合を大切に確実なプレーをして頑張っていきたいと思っています。

ソフトボール部

来年こそ!



二年六組
加藤 恵子

私達、ソフト部は二年生五人、一年生五人という、とても少ないチームです。でも、チームワークが良く、お互い良いことはほめ合い、分らないことや、悪いことは、注意し、一緒に考えてあげられることができるチームです。

シーズン中の練習や合宿は、今思うと、辛くて、嫌になる時もありました。でも、その練習が正しかったと、今は思います。

今年、県新人戦ベスト4、私学東北大会出場、県優秀チームに選ばれるなどの成績でした。私達には、高い目標があります。今年残した成績に満足しないで、常に自分に負けない強い気持ちでこれからの練習をがんばっていきます。

陸上部

新たなカラーで



二年四組
山内 愛



世代交代をしてから二年生が主体となる、新しいカラー・新しいチームでの取り組みが始まりました。新チームでの初舞台となる新人大会では、一人一人目標を持っていたものの、いつもの九里陸上にある勝負心が欠けていて、私達はどうしなければいけないのか考えなければならぬ大会でした。

この反省を活かして今年、チーム一致団結して『県総合優勝三連覇』そして『二十六年連続インターハイ出場』を成し遂げます。その為にも『心技体』をこの冬場で、今以上にもっともっと強くして、どんな相手にでも立ち向かっていける体力を強化し、九里陸上魂を出していきます。九里陸上のカラーである『タンポポ』の花を満開に咲かせます。

テニス部

私達のこれから...



二年四組 加藤 礼子

私達女子テニス部は五人という少ない人数での夏の合宿や普段の練習にがんばってきました。今年からは九里スポーツセンターを利用し、筋力の強化をすることにより体力をつけることができました。また、普段の練習や合宿でつらい練習でもみんなと励ましあつてがんばることができました。各大会では個人戦でそれぞれがいい成績を残すことができましたが団体戦では力を発揮することができず、悔しい思いをしました。これから春期大会、インターハイに出場しいい成果が残るようあつとわずかな練習を大切に、一人一人が力を伸ばせるよう勉強して技術的にも体力的にも精神的にも向上していきたいと思っています。

今年の目標

バドミントン部



二年六組 鹿間 幸恵

バドミントン部のこの一年は、春季地区高校総体から始まり、秋季地区高校新人大会では良い成績をおさめることができ、県大会、その他いろんな大会に出場することができました。一年の山口がシングルで県一位になり、東北大会、インターハイ出場と良い成績を残してくれました。それに続けるように、今年には部員全員が目標を高く持ち、毎日の練習で少しずつうまくなっていき、地区大会ではもちろん、県大会で上位入賞、または優勝できるようにがんばります。私もキャプテンとして、あと数カ月間、みんなをまとめ、がんばります。

剣道部

これからの課題



二年六組 郷野 愛

昨年活躍していた三年生が抜け、私達は四人という少人数で活動を始めました。部員が少ないという事は、全体の声量も減り、いろんな面でマイナスになる事です。大会の成績も落ち男子は団体も組めない状況になりました。そんな中で、少人数だからこそ出来る稽古を増やしたり、体力的にきつい稽古を取り入れたりするなど欠点を補ってきました。

これから、新一年生が入部し、また

新しい気持ちで稽古に臨む機会がでてきます。現部員が四人だからという消極的な気持ちに臆することなく、他のチームに引けをとらないぐらい堂々としたプレーができるように頑張っていきたいと思っています。



卓球部

根性



二年八組 佐藤真由美

「卓球」は暗い、地味というイメージを持つ人が多いと思いますが、それほど限らない卓球部があります。それが九里学園卓球部です。私たち卓球部は、この明るさと根性でインターハイ

を目指して日々の練習を頑張っています。今年度の高校総体では先輩方が活躍し、インターハイという大舞台に出場しました。技術面はもちろん精神面でも打ち勝った先輩方は私たちにたくさん勇気を与えてくれました。ラケット握れば真剣で、でも卓球から離れると面白い！先輩方に励まされた部分がたくさんあります。相変わらず、この学校よりも人数は少ないのですが、気持ちでは負けません。これから先生を中心とし皆一丸となって熱い夏を迎えたいと思います。

弓道部

一年間の反省とこれからの抱負



二年三組 情野美智子

私たち弓道部はこの一年間、総勢二十三名で活動してきました。中学の時はただの平部員だったのが高校に入り部長という立場を任せられ、こんなにも大変な役職だとは思ってもいなかったです。新人戦やいろんな大会があったけど、あまり目ざましい成績を残すことができなかった。でも、それは自分たちの練習がたりなかったのだからの結果だったのではないかと思います。これからは、部員一人一人がもっと頑張って部活に取り組んでいかなければならないと思っています。指

示をしたりまとめたりすることは自分の性格にあっているかと思いつけど、部長という自覚を持ち一年生をまとめ、成績が残せるよう部員全員で頑張っていきたいです。

男子バスケットボール部

一年間を振り返って



一年二組
野村 俊輔

九里学園に入学して、早くも一年が過ぎようとしています。我々男子バスケット部は、三年生が伝統を創ってくれたので、その伝統を受け継いで更に上を目指して頑張ってきました。

毎日の練習、夏合宿、遠征や練習試合などを部員全員で乗りこえてきました。しかし、大会では結果を残す事ができなくて、かなり悔しい思いをしました。部員もだんだん減っていき最後には一年生だけのチームになってしまいました。最初はとまどいもあつたけど仲間と先生を信じて一からスタートしました。

それから厳しい練習を重ね冬の大会では、二勝することができ本当に嬉しかったです。これからも日々の練習を頑張る、僕達の代では負け無しの九里になれるように努力しますので応援宜しくお願いします。

女子バスケットボール部

一年間を振り返って



二年六組
清水美智子

私達バスケット部は、先輩方が引退して現在七人で活動しています。毎日の練習では明るく元気に活動する事を取り組んでいます。しかし、試合が近くなると実践練習が出来ないため、先輩方にゲームの相手をしてもらうなどして大変助けてもらいました。徐々に先輩方に追いつけるまでになった時は、沢山の自身を身につけたように思います。先輩方や保護者会の沢山の方々の支えで私達は今があると実感しています。勝つための努力から生まれる喜びを知り、仲間の大切さを知りました。しかし、先輩方のような強気のプレイはまだ出来ていません。一日の練習を大事にしてチーム一丸となり強いチームを築けるように努力します。そして最後に笑顔で飾れるように頑張ります。攻めて勝つ、さあ来い”です。



サッカー部

大会に向けて



二年二組
高橋 正樹

現在サッカー部は、二年生五人、一年生六人の計十一人という少ない人数で活動しています。今年「県大会出場」を目標に掲げ頑張っている所です。去年は、接戦をものにできなかったり、自分達の力が十分に出せなかったと本意な成績で結果を残すことができず悔しい思いをしました。今年、悔いの残らない試合をし絶対に県大会出場をしたいと思っています。そのために、一日一日の練習を無駄な時間にしな

ように一生懸命頑張っている所です。高体連までありますが、精神面・技術面ともに鍛えていきたく思います。



野球部

一人はみんなのために



二年一組
猪口 涼太

私達九里学園野球部がこのような素晴らしい環境で野球ができる事を部活動後援会の方々に感謝を申しあげます。

今年度は九里野球部真価を問われる年でした。春の念願の県大会出場から始まり夏のまさかの一回戦敗退、秋は後一步の所で涙のみ、最後の市内大会ではチームワークで悲願の「初優勝」を飾り俺達の一年は終わりました。このような成績を残せたのも保護者



や学校関係者の応援や支えがあったからだと思えます。今、自分に自信を持って生活する為、今までの古い考えを全て捨て「意識改革」を目指し高橋監督の下、基礎体力を作り野球を知り、そして人間性を学んでいます。俺達は本気で甲子園に行きます。

吹奏楽部

私達の目標



二年六組
工藤 智未

昨年の吹奏楽コンクールでは、部員ひとりひとりが頑張りを、県大会銀賞をいただく事ができました。この経験は、これからの部活動に向けてとても良い経験となりますが、その中心となった三年生が引退し、部員が十三名になり、少編成のバンドとなりました。これはコンクールに出場したり曲を演奏する上で大変難しい事ですが、私達の持ち味を活かしたサウンドを作り部員一丸となり、今年こそは県大会金賞を目指して頑張ります。そして何よりも部員ひとりひとりが演奏する事を楽しみ、良い演奏をするための努力を惜しまず、聞いている方々にも楽しんでいただけるような音楽作りの出来る部を作っていけるように頑張りたいと思います。

書道部

一年間を振り返って



二年六組
樋口 愛

私たち書道部は、この一年間とても忙しかったような気がします。特に、上杉鷹山公生誕二百五十周年の展覧会、九里学園創立百周年の展覧会、九里祭がかさなって、部員の数も前からみるとかなり減っているの、初めはできるか不安がありました。時には、みんなで悩み苦しみ、時には、喜びを味わいながら作品を作ったのだろうと思います。そして、無事展覧会が成功したのでとてもよかったです。仲間の大切さだと思いました。書道部は、今回も全国高文祭が神奈川県であります。この神奈川の大会に向けて、一人一人が精一杯力を振りしぼって一生懸命頑張っていきたいと思っています。

音楽部

今後の音楽部



二年七組
金子 幸恵

昨年のコンクールやいろんな発表の場では何かと三年生の先輩方に頼ってばかりでした。しかし、今年は私達が最高学年であり、皆を積極的に引っ張っていかねばならない年です。また、私達にとって最後のコンクール出場という年でもあります。ですから、様々な発表会やコンクールに向けての練習を、皆で力を合わせ、努力を重ね、自分達が納得出来た、満足できたと思えるような合唱を作り上げていきたいと思えます。そして、これからも自分の傍に仲間が居てくれるありがたさを分かり合えるような温かい部活でありたいと思います。

美術部

奥深い美術



二年一組
新田 晃弘

僕は、二年生になって美術部に入りました。これまでは自分が美術部に入ることなど全く考えていませんでした。これまで美術の経験などなかったので、この一年間は初めてのことばかりで大変でした。七月になり高文祭に出品する大きな油絵の描きはじまりましたが、なかなか思い通りにいかず、また時間もかかり、夏休みも毎日学校で描きました。初めての油絵は、自分にとって表現する難しさや、すばらしさなどいろいろと学ぶことができ、良い経験になりました。もうすぐ三年生になります。が、「三年生」という自覚を持って部活に取り組んでいこうと思います。

茶道部

反省と抱負



二年四組
玉虫 亜樹

一年間をふり返ってみるとたくさんの行事がありました。特に高文祭と九里祭が印象に残りました。高文祭では、米沢商業さんと置賜農業さんと私たち九里学園の三校でやりました。他校のお点前も見れたし、友達もでき楽しい高文祭になったと思えました。九里祭では二日間呈茶席を行いました。同窓会の方々などたくさんのお客さんが来ていただき、とても良い呈茶席になったと思います。次の九里祭も良い呈茶席にしたいと思います。

今後の抱負は、部長としてみんなをひっぱり、次の高文祭に向けてお点前を完璧にし、恥をかかないように一生懸命練習をしたいと思えます。また三年生にはいろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

文芸部

私たちの挑戦



二年六組
竹田 美穂

私たち文芸部は、今年はいろんな事に取り組んでみようと、今年度のはじめに考えました。文芸部は、詩や小説などの創作を主な活動としているので、まずはさまざまなコンクールへ作品を応募してみることから始めてみました。大きな賞をとることこそできませんでしたが、一つのテーマを持ち、コンクールへ向けて創作するというのは新鮮な感じでした。そしてもう一つ、とても緊張して取り組んだのが、高文祭でした。今年は会場が長井ということとで、地元の迎える側の私たちは、九里祭とほぼ同時進行という中、準備を進め、本番では詩の朗読の難しさを改めて実感しました。そんな一年でしたが、来年度はさらにいろんな事に挑戦したいと思います。

ワープロ部

明るくて楽しい部活に



二年五組
島貫いくみ

演劇部です！今年一年をふり返ってまず昨年と違うのは、私達をリードしてくれる『先輩』がいないという事で分勝手に活動していた私達が、いざ先輩が引退してしまおうと、何をどうしたらいいのかさっぱりわからず、流れるままに活動していました。部の雰囲気が変わり、気も緩みがちになってい

成長

演劇部



二年三組
松本 愛美

私たちが日頃心がけていることは、目標をもつてがんばることです。七人という少ない人数ですが、毎日楽しく、充実した部活動を行っています。去年は、新庄でワープロ大会が行われましたが、残念な結果となりました。しかし、私たちにとっては初めてで良い経験だったと思います。この大会をきっかけに、次の大会は良い結果を出せるように今まで以上に練習をがんばろうと思います。大会の他に、一人一人検定に向けてがんばっています。これからもワープロ部は、大会や検定合格のため毎日練習をがんばり、明るく、楽しい部活を作りたいと思います。

文化部

美術部



き『先輩』という存在が改めて大きく感じられました。そうした中で一つの劇を完成させていくにつれ、部員達も次第にまとまって活動するようになりました。私達もこの一年で後輩をリードし、部をまとめられる『先輩』のような存在になれたと思いました。私達二年生が舞台上に立っているのは、六月の定期公演で終わりです。私達の持っている全てを後輩達に伝え、最後の公演で全力を尽くせるように頑張っていきたいと思います。また後輩にはいつも新鮮な気持ちで活動できるように、来年度入部してくる新入部員達と一緒に、頑張っていきたいと思っています。

演劇部



年の「緑光会展」に一般の方の作品と共に展示されます。

山形県高等学校演劇合同発表会
優良賞

書道部



第25回 全国高等学校総合文化祭
—吟詠剣詩舞部門— 文化連盟賞
佐藤ゆかり(3年 上郷)
渡部 知里(2年 米4)
樋口 愛(2年 米5)
第25回 全国高等学校総合文化祭
—書道部門— 総合文化祭賞
佐藤ゆかり(3年 上郷)
文化連盟賞
渡部 知里(2年 米4)
優秀賞
樋口 愛(2年 米5)
伊藤 詠美(2年 飯豊)
入選
神田 沙織(2年 米5)
全国高等学校文化連盟より表彰
佐藤ゆかり(3年 上郷)

新聞部



山形県高等学校新聞コンクール
(写植・活字部門)
優良賞

○総合文化祭賞
3年 油井 衣世(米1中)
「ママ」油彩画一〇〇号変形
○奨励賞
3年 加藤 光恵(川西1中)
「時空」立体造型

※右記の二名は山形県高等学校美術展で「特選」「奨励賞」受賞したことに
より、美術団体「緑光会」が行っている「中学生・高校生顕彰事業」の中で優秀な作品を制作した置賜地区十名の生徒に選出されました。この作品は今

全国高等学校新聞コンクール
健闘賞

内藤 桂太(3年米2)鈴木美穂子(3年高島4)
須藤 志保(3年南原)原川 美保(3年米1)
堀 愛(2年米4)中川 浩子(2年米1)
石井亜沙美(2年米4)寒河江岳彦(1年川西2)
後藤美由紀(1年米3)渡部 藍(1年中津川)
嵐田 智美(1年米1)佐藤 広子(1年高島3)

運動部

東北高校新人大会

陸上部



200m 予8位 横野 友紀(2年 玉庭)
3000m 12位 沼澤 美和(1年 白鷹東)
1000H 8位 山内 愛(2年 米4)
400H 5位 山内 愛(2年 米4)
3000mW 3位 中村 瑞穂(1年 米7)
14位 鈴木 美樹(2年 長井南)
400mR 7位 酒井 珠美(2年 小国)
横野 友紀(2年 玉庭)
甘粕久美子(1年 米1)
山内 愛(2年 米4)
1600mR 予6位 酒井 珠美(2年 小国)
横野 友紀(2年 玉庭)
高橋真都香(2年 米3)
山内 愛(2年 米4)
砲丸投 2位 平 江理子(2年 川西2)

国民体育大会

陸上部



ヤリ投 7位 平 江理子(2年 川西2)

砲丸投 14位 高橋ちひろ(3年 叶水中)

A1000m 準決勝 8位 堀江 真由(3年 米1)
A4000m 3位 堀江 真由(3年 米1)

置賜陸上選手権

陸上部



(女子)

1000m 2位 山内 愛(2年 米4)
3位 横野 友紀(2年 玉庭)
4位 酒井 珠美(2年 小国)
5位 甘粕久美子(1年 米1)
400m 1位 山内 愛(2年 米4)
2位 横野 友紀(2年 玉庭)
3位 甘粕久美子(1年 米1)
3000m 1位 小杉 奈美(3年 長井南)
2位 沼澤 美和(1年 白鷹東)
3位 中村 瑞穂(1年 米7)
4位 長澤 由美(2年 米1)
5位 佐藤 美穂(3年 飯豊)
6位 高橋真都香(2年 米3)

走幅跳 2位 酒井 珠美(2年 小国)

円盤投 1位 平 江理子(2年 川西2)
3位 小松 恵(1年 沖郷)

(男子)

ヤリ投 1位 平 江理子(2年 川西2)
3位 小松 恵(1年 沖郷)
円盤投 6位 加藤 正敏(1年 米3)
3位 加藤 正敏(1年 米3)

県高校駅伝

陸上部



総合2位
1区 小杉 奈美(3年 長井南)
2区 中村 瑞穂(1年 米7)
3区 高橋真都香(2年 米3)
4区 佐藤 美穂(3年 飯豊)
5区 沼澤 美穂(1年 白鷹東)

東北高校駅伝

陸上部



第11位(28チーム参加)
1区 小杉 奈美(3年 長井南)
2区 長澤 由美(2年 米1)
3区 高橋真都香(2年 米3)
4区 佐藤 美穂(3年 飯豊)
5区 沼澤 美穂(1年 白鷹東)

山形県テニス選手権大会

テニス部



シングルス

優勝 情野 朋美(1年 米5)

山形県オープンテニス大会

テニス部



シングルス

3位 情野 朋美(1年 米5)

置賜地区室内ダブルス
テニス選手権大会

テニス部



優勝 加藤 礼子(2年 川西1)
南 尚美(2年 米2)

優勝 遠藤 慎介(2年 米3)
渡部 裕史(2年 米2)

3位 鈴木 雄大(1年 米2)
齋藤 靖(1年 米4)

山形県室内ダブルス
テニス選手権大会

テニス部



優勝 情野 朋美(1年 米5)

東北ジュニアテニス選手権大会山形県予選

テニス部

シングルス
優勝 情野 朋美(1年 米5)

冬季リーグ戦

女子バスケットボール部

1部リーグ3位
第1試合 九里 63対52 長井高校
第2試合 九里 76対78 米沢東
第3試合 九里 55対92 米沢商業

〈出場メンバー〉

清水美智子(2年 赤湯)
長島 亜衣(2年 赤湯)
佐々木美幸(2年 漆山)
竹田 愛(1年 高島1)
我妻 美幸(1年 高島4)
江口あゆみ(1年 吉野)
竹田絵里奈(1年 沖郷)

山形県選手権 全日本予選

卓球部

第3位
青木 朋恵(2年 川西1)
全日本選手権大会
東京選手権大会へ

ベスト8
荒井 直子(1年 綾瀬)
東京選手権大会へ
板垣 真希(2年 米2)
ベスト16
齋藤 希(2年 川西1)

置賜選手権大会

卓球部

女子シングルス
1位 青木 朋恵(2年 川西1)
2位 板垣 真希(2年 米2)
3位 齋藤 希(2年 川西1)
3位 佐藤真由美(2年 川西1)
女子ダブルス
1位 青木 朋恵(2年 川西1)
板垣 真希(2年 米2)
2位 佐藤真由美(2年 川西1)
齋藤 希(2年 川西1)

全日本選手権

卓球部

1回戦
青木 朋恵(2年 川西1)
2対3
牧野(白鵬女子高校)

置賜地区冬季リーグ戦

卓球部

1部 全勝優勝
第1試合 九里 3対0 米沢東

第2試合 九里 3対0 置賜農業
第3試合 九里 3対0 長井高校

置賜地区高校

冬季剣道大会

剣道部

女子個人戦
3位
郷野 愛(2年 米1)

私学大会 (山形県予選)

ソフトボール部

準優勝
第1回戦 九里 3対2 鶴岡東
準決勝 九里 3対8 山形学院
〈出場メンバー〉
加藤恵子(2年・川西1) 井澤美紅(2年・米3) 萬世知美(2年・南原中) 白井まゆ美(2年・米1) 金子舞(2年・米1) 遠藤美智(1年・米3) 丸山尚子(1年・米3) 青野友美(1年・米2) 佐藤恭子(1年・米2) 松田香織(1年・米2)

私学大会 (東北予選)

ソフトボール部

予選リーグ2位
予選
1回戦 九里 1対0 学法石川

2回戦 九里 1対2 秋田経法大附
2位トーナメント
1回戦 九里 2対7 八戸聖ウルスラ

〈出場メンバー〉

加藤恵子(2年・川西1) 井澤美紅(2年・米3) 萬世知美(2年・南原中) 白井まゆ美(2年・米1) 金子舞(2年・米1) 遠藤美智(1年・米3) 丸山尚子(1年・米3) 青野友美(1年・米2) 佐藤恭子(1年・米2) 松田香織(1年・米2)

岩手県インターハイ記念 第2回東日本高等学校 バドミントン大会

バドミントン部

女子シングルス
山口美百子(1年 米3)
大会出場

第30回全国高等学校選抜 バドミントン大会 東北地区予選会

バドミントン部

女子シングルス
山口美百子(1年 米3)
大会出場

平成13年度 部活動後援会法人会員一覧

- | | | | |
|-------------|---------------|--------------|--------------|
| (有)平田自動車工業 | 黒田商店 | 桑原豆腐製造 | (株)けんなん |
| 中條齒科医院 | 新田機業 | 特急寿司 | (有)荒井木材店 |
| 平和軒 | (株)スズデン | かど久 | 吾妻スポーツ |
| 城南産業 | 青葉堂印刷 | (株)カクダイ本店 | (有)県南自動車整備工場 |
| (有)色部組 | 山形ニッタン米沢営業所 | ホテルベネックス | (株)互助会ライブ |
| 本多建設 | 安全自動車 | 米沢アルミ工業 | 加藤真琴 |
| エー・ピー・エム(株) | 村正運輸 | (有)タス | (株)長井製作所 |
| 岸製麺(有) | 上杉城史苑 | (株)小池商店 | 長沼合名会社 |
| 小泉創芸(株) | (有)タカモク | イトウ防水 | 船越 |
| 宮坂鯉店 | 加東産業不動産 | 神田源一建築設計工房 | (株)丸三商会 |
| 小林製氷 | 酒井塗装所 | (株)ヤマケン | |
| 本多興産 | 蓮沼左官工業 | (有)中央電気 | |
| 伊藤齒科医院 | 井上板金工業所 | (有)平山フーズサービス | |
| 丸定 | インテリア雅 | コココーラ米沢営業所 | |
| 吾妻自動車学校 | 東北新日軽(株) | (株)伊藤園 | |
| (株)川島印刷 | 森谷電工(有) | 笹生齒科医院 | |
| 羽生 | 土木施工山口 | (株)北宣 | |
| 松が岬自動車学校 | キョウドウ印刷 | ヤリミズ自動車 | |
| 滝ペン塗装 | (有)金内酒店 | 鈴木木工所 | |
| (株)ナウエル | 小松組 | 伊藤豊店 | |
| (有)鳥勝牛肉店 | パナックNS | 東北日新(株) | |
| 平山孫兵衛商店 | 齋藤俊一税理士事務所 | 常信庵 | |
| 今井健次(商店) | 有限会社厚生社 | あやめそば舟越 | |
| 麻屋ふとん店 | 二ノミヤ電機(株) | 岩崎石材店 | |
| (株)ラビィ | 蕎麥庵 | 八文字屋長井店 | |
| 花のえちごや | (株)マインドプランニング | 土屋農機店 | |
| (株)嵐田絹織 | 長寿館療院 | 肉の加藤 | |



本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。会費は次の通りです。

- 特別会員 年会費 一〇三、〇〇〇円 (□数は問わず)
- 法人会費 年会費 一〇一、〇〇〇円 (□数は問わず)

新規会員を募集しております。

お問い合わせは
後援会事務局(担当/吉田淳)までご連絡下さい。

☎(0238)2110091
FAX(0238)2110092